

社協だより8月号【Vol.88】

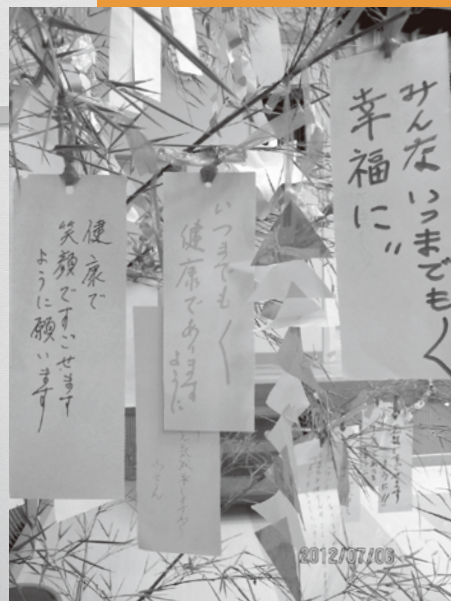
# 元気がわら版

●発行日:平成24年8月20日

●発行:社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会 庄原市西本町四丁目5番26号

●TEL0824-72-7120 ●FAX0824-75-0084 ●E-mail:info@shakyoshobara-city.or.jp

高い所に付けにやあ  
叶えてくれんかの？



## ●目次

P1~P2...比和のつどい

P3...よろず相談・義援金・車両点検活動・  
介護もの知りコーナー

P4...比和報告・ゆめのいえ報告・総領報告

P5...庄原報告・西城報告・東城報告

P6...口和報告・高野報告・協力寄付金

P7...寄付金

P8...市民レポーター西城・広告・ボウ募集

集うのには  
“ワケ”がある!!

7月6日、比和のつどい「たなばたま祭り」を開催しました。

# 集うのには “ツケ”がある!!



社協では、各地域様々な形で、  
住民さんが顔を合わせる機会を  
作っています。

普段の付き合いや、サロンでは会えない方など、「久しぶりじゃね」「元気しotta?」と声をかけ合い、「また会おうね」「また電話するね」と、これをきっかけにまた深まる縁もあります。切り口はそれぞれ違いますが、「みんなが集まることで生まれる元気、気遣い、優しさ」は全部一緒です。これからも「みんなが集まることで生まれる〇〇〇」を増やしていけたらと思っています。

## <各地域センター今後の行事予定>

### \*東城のつどい

9月8日(土)

参加者も一緒に楽しんで。



### \*高野花咲がじいさんばあさんのつどい

9月22日(土)

得意ワザを生かして。



### \*西城歳末たすけあい芸能大会

12月2日(日)

35年間住民さんに支えられています。



### \*口和のつどい

平成25年3月(予定)



地域のことを一緒に学びましょう。



## 第8回社協のつどい(開催案内)

テーマ

つながってるよ!!

 地域の輪・みんなの笑顔 

\*開催日時/平成24年11月17日(土) 10:00~15:00

\*開催場所/庄原市ふれあいセンター

### \*総領元気向上委員会

平成25年3月(予定)

参加するのが元気の秘訣。



## 車両点検活動(郷心会)

今年も、“郷心会”による車両点検がありました。暑い中の作業でしたが、「異常なし！」と指さし確認をされながら、丁寧に点検をしてくださいました。

おかげさまで、安心して活動ができます。ありがとうございました。

異常なし!



異常なし!



## よろず相談のご案内

### ◎一般相談 (13:30~15:30)

毎週水曜日 庄原地域センター  
 第1・第3木曜日 西城地域センター  
 東城地域センター  
 比和地域センター  
 第2・第4木曜日 口和地域センター  
 第1・第3水曜日 高野地域センター  
 第2・第4水曜日 総領地域センター  
 (9:00~11:00)

### ◎法律相談

※予約制で一人の相談時間が30分以内です。  
 ・9月7日(金)・21日(金) (13:00~16:00)  
 庄原市ふれあいセンター  
 ・9月13日(木) (13:00~16:00)  
 高野福祉保健センター

### ◎多重債務相談

※予約制で一人の相談時間が45分以内です。  
 毎月第2木曜日 (13:00~16:00)  
 庄原市ふれあいセンター

### ◎ブライダルサポートセンター(結婚相談)

毎週月曜日・第1日曜日 (14:00~16:00)  
 庄原市ふれあいセンター

その他の相談にも応じています。  
 お近くの地域センターにお問い合わせください。

## 介護もの知りコーナー

### ご存じですか?! 熱中症予防のポイント

お盆が過ぎてもまだまだ用心

- 1 部屋の温度をこまめにチェック  
(普段過ごす部屋には温度計を置くことをお奨めします)
- 2 室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう!
- 3 のどが渴いたと感じたら必ず水分補給!
- 4 のどが渴かなくてもこまめに水分補給!
- 5 外出の際は身体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も!
- 6 無理をせず、適度に休憩を!
- 7 日ごろから栄養バランスの良い食事と体力づくりを!

家の中でじっとしていても室温や湿度が高いため、熱中症になる場合がありますので注意が必要です。気をつけながら残暑をのりきりましょう。

庄原市社会福祉協議会 介護スタッフ

東日本大震災義援金

24年7月末までの義援金受付総額

88,818,122円

※左記の内83,110,385円は市本庁・支所窓口受付分です。義援金は日本赤十字社を通じ被災地へ送金されています。

## 比和地域センター

0824-85-2300

### あの日、あの時、あの場所で…

ずっと若い頃から田舎に住みたいと思い、約70年間過ごした大阪を離れ、3月から比和へ。右も左も分からない所へ来て、人付き合いも今からという時に、「比和のつどい“たなばたまつり”へ来てみん？」と声をかけてもらい、内容も良く分からないまま、主人と何となく参加してみることに。

すると、席が同じになった方に声をかけてもらったり、保育園、小学校のかわいい舞台、町民の方の舞台、特に、同じ歳ぐらいの方が舞台上がっておられるのを見て、「自分もがんばらなければ!!」と、喜びも楽しみももらえ、自分自身の気持ちがとても元気になりました。

今でも主人と、「あの日、いつもの様に二人で家にいたら、この感動や、元気な気持ちは味わえていなかったね」と話をします。自分の身体がしんどい時、「あの時、みんな頑張っておられたのだから」と思い出すと、また元気が出てくるようです。

人も優しく、声かけ上手な比和の方々と、これをきっかけに顔見知りとなって、「ずっと比和(ここ)で過ごしたい」という思いがますます大きくなりました。



お話を聞いた角田ご夫婦

## ゆめのいえ

0824-85-7031



種まき『芽がでるよ〜!』

### 早く大きくな〜れ!



草取り『草に負けるなよ!』

地域のボランティアさんと一緒にはぶ草の種を植えました。

この日はとても暑く、みんな汗だくになって作業をしました。「天気は続くかね?」「ちゃんと芽がでるか?」と心配する人、「早く大きくなりんさいよ!待ってるからね!」と畑に向かってつぶやく人、みんな毎年の収穫を楽しみにしています。

また、朝、畑を見に行っては「今日はこのぐらい大きくなっとなよ!」と報告したり、「草を取らにゃ〜はぶ草が大きくならんで!」との助言で草取りをして「早く大きくな〜れ!」と、みんなで声を掛けました。育てる喜びを体験しながら、収穫する楽しみが待ち遠しい今日この頃です。

秋のイベントぐらいから販売したいと思いますので待っていてください。

## 総領地域センター

0824-88-2796

### 上手に息抜きを!

認知症の母親の介護をしている男性が、母親の度重なる奇行に「くたびれ、「ついついきつい口調で叱ってしまう」と言われました。少し年配の男性が「子どもはのぉ、言えば分かるんじゃ。でもお母さんは言って聞かせても忘れるんじゃけえ、ひどく言うちゃんなよ。気持ちは分かるがのぉ」と、ゆっくりと返答されていました。

一般的に男性介護者は、家の中のことをほとんど人に喋りません。でも、感情を表に出したり、気持ちを汲んでもらったりすることで、気持ちが安定します。そして次の介護に余裕が持てます。

在宅介護は24時間365日。だからこそ、同じ状況の人や経験者と喋って、上手に息抜きをしましょう。それが継続のコツです。





## 庄原地域センター

0824-72-7120

### これからも、ここで

「これからも、ここ(本村町)で支え合って暮らしていこうの」「いつまでも、健康ならええが、じきに介護保険の世話にもなるかもしれん」「そーいえば、いろんな制度のことを、知っとるようで知らんことが多いよのお」という会話が本村町で新たにスタートした“岩月サロン”で出ました。そこで、出前講座を利用して“いざという時の介護保険制度”の学習会を行うこととなりました。

「ほー、なるほどのお」「へー、それは初耳じゃ」など、参加者の体験談も交えて意見交換ができ、「話を聞いて、少し安心したよ」と笑顔で終わりました。サロンは、日頃から顔を合わせ、気にかける関係を築く役割と、普段疑問に感じていることや悩みごとなど、みんなで一緒に話し合い、解決につなげるという役割もあります。

サロンや地域の集まりなどで社協の出前講座をご利用いただけます。内容については、どうぞお気軽にご相談ください。



## 西城地域センター

0824-82-2953

### 秋の収穫が待ち遠しい ～福祉教育指定協力校事業～

西城小学校では地域の方々の協力のもと、春の種蒔きから秋の稲刈りまで一年を通し、「米づくり体験学習」に取り組まれています。

この日は、大切に育てている稲を守る案山子を作りました。児童たちは「稲が被害に遭わないように頑丈にしよう。もっと目立つようにしよう」とアルミホイルやCD、キラキラ光るテープなどを使い工夫しながら、作成していました。

地域の方は、「米づくりだけではなく、たくさんの方のことを体験して、いろいろなことに挑戦する人になってもらいたい。その手伝いができれば」と話されました。

児童たちが工夫して作成した案山子は、収穫まで稲を守ってほしいとの気持ちが込められ、さっそく田んぼに設置しました。秋の稲刈りが楽しみです。



## 東城地域センター

08477-2-0488

### 思いをもって

東山(仮名)さんは通院先で、おでかけ応援隊で活動されている中山さんを度々見かけては、『いつも笑顔で元気、何故なのか』と不思議に思い、秘訣を聴かれました。

中山さんは、「家にいるとテレビを見ても一方通行、外に出て若い人や利用者さんと顔を合せ、話しをすることができ楽しい。教えられることも多いし元気をもらっている。人生に張りが出てくる」と、話されました。それならと東山さんもボランティア登録をして活動を始められました。まだまだ活動回数は少ないですが、以前の東山さんとはどこか違って見えます。

社協の応援者であるボランティアさんは、何らかの思いを持って活動をされています。地域で暮らしたいと願う多くの住民の方の思いを実現するため私たち職員は、ボランティアさんをはじめ地域の方と一緒に考え、活動を進めていきたいと思ひます。





## 口和地域センター

0824-89-2320

### また来週、会いましょうで!!

毎週火曜日に実施している介護予防事業『喜楽塾』、男性ばかりの会ですが皆さんとても楽しみに参加されています。

参加者の畑を借りての野菜づくりや、2ヶ月に1度のお買い物、お盆前には恒例の盆灯籠づくりにも取り組みました。

一人暮らしが多いこの会は、みんなで食べる昼食も楽しみのひとつです。

参加者同士が仲良くなって出かける機会も増え、気に掛け合う関係も築けました。

「息子が一緒に暮らそうとってくれるけど、やっぱりここがええけーのー。迷惑かけるかもしれんが、いろいろな人と交流しながらここで暮らしたいよ」

出かける機会の少ない男性の方、『喜楽塾』に参加してみませんか。ちょっと気になる方、火曜日に保健センターを訪ねてください。いつでも大歓迎です。



## 高野地域センター

0824-86-3044

### 高野の人が安心して暮らせるよう工夫がいっぱいあるんだね

高野小学校6年生が、福祉について勉強に来ました。

福祉に関する説明(社協活動や福祉保健センターの話など)と併せ、5年前、病気で体が不自由になられた藤元さんをお招きし、話を聞きました。

藤元さんからは、「家に引きこもらない事、身体に良い事は取入れるよう情報キャッチをする事、人生が終わるとき、いい人生だったと言える毎日にしたい。みんなに負けない位、何にでもチャレンジするよ。障がい者を見かけたら、勇気を出して、声を掛けてね」と話して下さいました。

こども達は、「自分が障がい者になっても、藤元さんのように明るく前向きに生きていきたい」「僕も何にでもチャレンジしようという心を持つとうと思った」等の感想が聞かれました。

少しの時間でしたが、「福祉保健センターや社協の様子がわかった」「福祉保健センターは人を笑顔にしてくれるところ」「これから、人をいたわりやさしく接しようと思った」とこども達。社協職員、笑顔で頑張るけえね。





# 地域のものがたり

## 高齢者が安心して暮らせる地域づくり



市民レポーター  
八銚自治振興区  
地域福祉コーディネーター  
織田 みね子

私の住んでいる地域は、人口の減少と少子・高齢化が進み、いずれは高齢者の仲間となる私も漠然とした不安をかかえつつ生活する中、昨年度から八銚自治振興区で県社協のモデル事業“地域支え合い体制づくり”に取り組んでいます。

この事業を推進するため、振興区の総務企画部の中に自治会福祉担当、高齢者担当、民生児童委員からなる“支え合い支援グループ”を起ち上げ、組織で支え合いを考える活動をはじめます。

この活動を担う地域福祉コーディネーターとして、社協専門員と連携し、地域のひとり一人が支え合いに取り組み『安心』『安全』の架け橋となれるように、小地域サロンづくりをはじめ、お互いに気をかけ支え合える関係づくりに取り組んでいます。

地域では、自然体のおしゃべり会や料理を持ち寄り楽しむ会、常会単位の活動などが取り込まれ、それらの活動は、年を重ねる事を決して恐れず、悲観せず、今を前向きに明るく取り込まれており、感動さえ抱かされるような思いです。例えば、1人暮らしの高齢者や女性は車に乗れない方も多く、田舎で行動するには交通手段がネックになります。しかし、それを外出できない理由とするのではなく、公共交通機関を利用して仲間と出かけるという柔軟な考え方ができ、家から四季折々の景観を楽しむなど、田舎の生活をまるごと抱え前向きに生活されています。

これからも地域の集まりや活動に参加させていただき、地域の方々の思いや考えを聞かせていただければと思います。地域の方々をはじめ、支え合い支援グループメンバー、社協、関係機関等と連携をとり、試行錯誤をくりかえしながら、お互いが支え合える地域になれるよう努力していきたいと思っています。



**広告**



司法書士 飯田 一生  
《広島司法書士会所属》

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)  
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナッシュB2階 TEL0824-72-2315 (要予約)

**一人で悩まないで  
まず相談してください。**

**業務のご案内**

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

**学生の皆さんへ**

専門学校や短大・大学へ通う学生の皆さん、社会福祉協議会でボランティア活動をしてみませんか？

ご希望の方は、庄原社会福祉協議会へご連絡ください。